



高岡西部小だより

令和7年4月22日 発行 No.1

高岡市立高岡西部小学校



高西小 HP

★「私たちでつくろう！一人一人が輝く高岡西部小学校を！」



今年も校門のチューリップの花が、子供たちを優しく迎えてくれています。高岡西部小学校は、開校から2年目の春を迎えました。先日の入学式では、初々しい1年生66名が新たに仲間入りし、全校児童494名、教職員62名で新年度のスタートを切りました。

開校したばかりの昨年度は、3つの異なる校区から集まった子供たちが出会い、新たな人間関係を築いていく「出会いと挑戦」の一年となりました。互いを理解し、認め合うことの大切さを子供たちは日々学んできました。

今年度の合言葉は、「私たちでつくろう！一人一人が輝く高岡西部小学校を！」です。「一人一人が輝く」という言葉には、子供たちが自分らしさを大切にしながら、互いに認め合い、自分も友達も大切にしてほしいという願いを込めました。また、「つくろう」という言葉には、自分たちの手でよりよい学校を創り出していこうという主体的な姿勢への思いを込めました。

494名全ての子供たちが、「この学校にいてよかった」「学校って楽しいな」と感じられるような学びの場を、教職員一同、力を合わせて築いていきます。この合言葉が子供たちの心の中に息づき、迷ったときや悩んだときにも、立ち返ることのできる道しるべとなるように伝え続けていきたいと考えています。

今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

★高学年の一步が学校を動かしています！

さわやかなあいさつの声が、玄関に元気よく響いています。昨年度に引き続き、「自分たちの手で学校をつくろう」と、高学年の子供たちが登校時のあいさつ運動や1年生の見守りを自主的に始めています。自ら知恵を出し、「今、自分にできることは何か」を考え、すぐに行動に移すその姿こそ、高岡西部小学校の誇りです。



高岡西部小学校の子供たちの様子を、随時、ホームページや学校だより等でお知らせしていきます。それに伴い、「学年だより」は、各学年の連絡事項等がある場合のみ発行いたしますのでご了承ください。

★子供たちのセンスが光る アイデアあふれる廊下アート

廊下には、新聞チラシをくるくる巻いて作った紙筒を使い、現6年生の子供たちが創り上げた立体作品がずらりと並んでいます。傘やお城、ブランコなど、直線だけで構成されたとは思えないほど、センスが光る作品ばかりで、思わず足を止めて見入ってしまいます。

これらのアート作品は、廊下のオブジェとして空間を彩るだけでなく、右側通行や廊下歩行を呼びかける工夫としても活用しています。子供たちの豊かな発想が、自然と心地よい空間を生み出しています。



★進級の喜びとともに・・・教職員で机・椅子のサイズ調整



教職員全員で、子供たちの机や椅子のサイズ調整を行いました。進級の喜びにあふれる子供たちが、快適に学べるよう環境づくりにも力を入れています。整えられた机と椅子には、
「今年も頑張っしてほしい」

という先生たちの思いが込められています。これからも教職員一丸となって子供たちの学びを支えていきます。

★優しさいっぱい！新2年生の学校クイズづくり



「お邪魔します！1年生に学校を紹介するクイズをつくっています。校長室のことを調べてもいいですか？」そんな可愛らしい声とともに、2年生の子供たちが校内を巡って、クイズづくりに励んでいます。

校長室に並ぶたくさんの椅子に驚いたり、「これはお宝だ！」と目を輝かせたりしながら、どんな問題にしようかと、あれこれ思いを巡らせていました。子供たちの眼差しは、好奇心と1年生のことを思う優しさに溢れていました。どんなクイズができあがるのか今からとても楽しみです。